

かんきょう 4. その他の環境問題

◆ダイオキシン類

ダイオキシン類は、ごみなどを燃やすと自然にできてしまう物質であり、量は少ないのですが、空気や水、土の中にも含まれています。

ダイオキシン類は、人に有害な物質なので、ダイオキシン類が多く出ないように、燃やし方のきまりを作っています。

佐賀県では、毎年、空気、海や川の水、土にダイオキシン類が多く含まれていないか測定していますが、これまで特に問題になったことはありません。

◆身のまわりの化学物質

わたしたちが日ごろ使っている製品は、いろいろな化学物質を使って作られています。化学物質は、わたしたちの生活を豊かにしてくれますが、使い方をまちがえると、人や動植物に悪い影響を与えてしまうおそれがあります。

自動車の排気ガス、洗剤、殺虫剤など、身のまわりにはたくさんの化学物質がありますが、排気ガスの少ない低公害車を利用したり、洗剤などはラベルの表示などをよく読み、正しい使い方をしたりして、化学物質と上手に付き合っていきましょう。



◆ 騒音

わたしたちの身の回りにはさまざまな音があります。そのうち、わたしたちの眠りを妨げたり、会話ができなくなったりするような「好ましくない音」を「騒音」といいます。

騒音の原因となるものには、工場での機械の運転、くい打ちなどの建設作業、自動車の走行、スピーカーの使用、カラオケ、エアコンの室外機などがあります。

工場や建設作業で発生する騒音を小さくするため、地域を決めて工場や建設作業の騒音の大きさについてのきまりをつくっています。

用語の解説

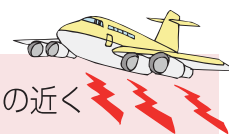
● デシベル

音の大きさを表す単位です。



120 デシベル

飛行機のエンジンの近く



100 デシベル

電車が通るときのガード下



80 デシベル

地下鉄の車内

60 デシベル

静かな乗用車
ふつうの会話



40 デシベル

市内の深夜
図書館
静かな住宅地



20 デシベル

木の葉のすれ合う音
置き時計の秒針



◆ 振動

工場での機械の運転、くい打ちなどの建設作業、自動車や鉄道車両の走行などで地面がゆれることを「振動」といいます。

振動がひどいときは、ふすまや障子がガタガタする、壁にヒビが入る、瓦がずれるなどの被害が出る場合があります。

工場や建設作業で発生する振動を小さくするため、地域を決めて、工場や建設作業の振動の大きさについてのきまりをつくっています。



◆ 悪臭

動物の糞や尿のにおい、食べ物の腐ったにおいのような「好ましくないにおい」を「悪臭」といいます。

工場などからの悪臭をなくすため、地域を決めて、アンモニアなどの悪臭の原因となる物質を出さないようなきまりをつくっています。

◆地盤沈下

わたしたちは、地面の上に建物^{たてもの}を建てたり、道路を作ったりして、生活しています。この地面が沈^{しず}むと建物^{たてもの}が傾^{かたむ}いたり、道路にでこぼこができたり、川や海の水面より水路^{みく}が低^{ひく}くなって、流れが悪くなったりします。

このようにいろいろな場所で地面が沈^{しず}むことを「地盤沈下^{じばんちんか}」といいます。特に有明海^{えんがん}沿岸の佐賀平野^{さかへい}は、有明粘土層^{えんんどそう}と呼ばれる水分^{ふく}を多く含^{ふく}んだ粘土層^{ねん}が厚く広がっており、この層の水分^{すいぶん}が地下水^{くみあげ}をくみあげすぎることに^とよって減^へり、層^{そう}が縮^{ちぢ}むことで地面^{しず}が沈^{しず}んできました。

◆地盤沈下をなくすために

地盤沈下^{じばんちんか}をなくすためには、くみあげる地下水^{りょう}の量^へを減^へらしたり、川やダムからの水^{みづ}を使^{つか}えるようにしたりすることが大切です。

図1. 代表的な水準点^{すいじゅんてん}における沈下量^{ちんか}の経年変化^{けいねんへんか}

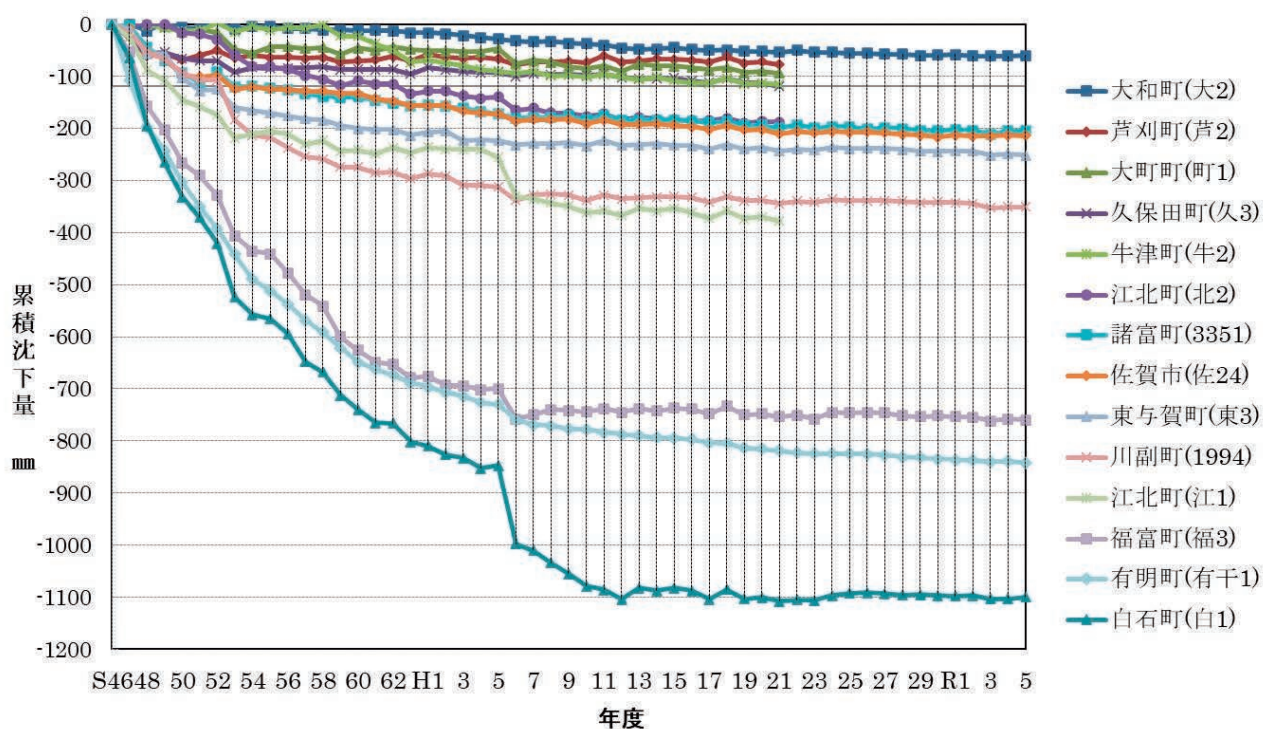


図1は、代表的な水準点^{すいじゅんてん}の昭和46年からの地盤沈下^{じばんちんか}の大きさをグラフにしたものです。

線^{せん}が下にいくほど沈下^{ちんか}が大きかったことになります。

最近^{さいきん}は地下水^{くみあげ}のくみ上げが減^へり、沈下^{ちんか}も少なくなっています。

用語の解説

●水準点^{すいじゅんてん} 地面の高さ^{はか}を測^{はか}っている地点^{ちてん}です。

じばんちん か とうりょうせん ず
図2 地盤沈下等量線図 (累計)

昭和47年2月1日～令和5年2月1日

S = 1 : 100,000

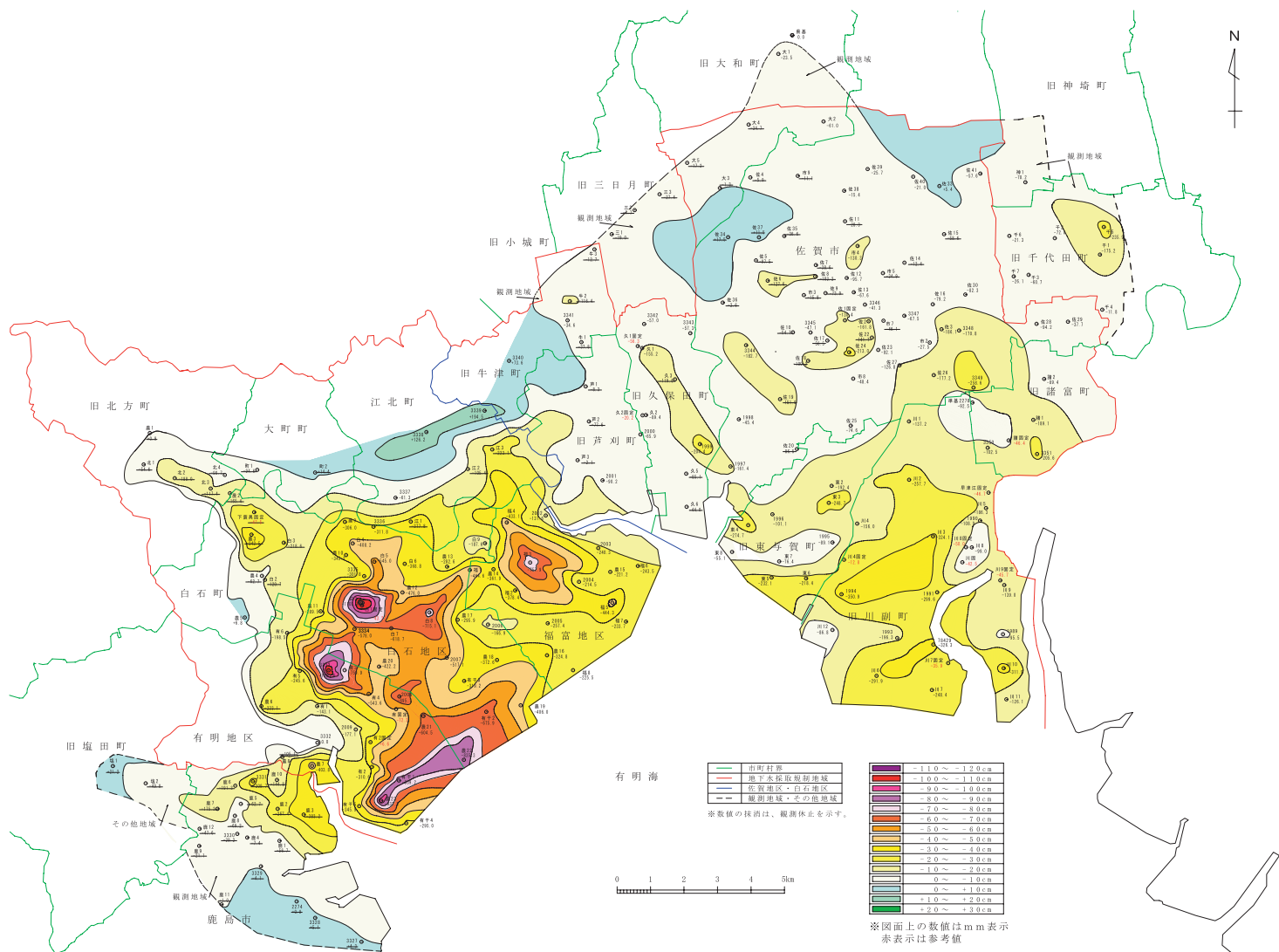


図2は、昭和47年から今まで、沈下した大きさごとに色を塗ったものです。赤色が濃いところは沈下が大きいところです。佐賀平野の有明海沿岸が特に沈んでいることが分かります。

わたしたちに
できること

●むだな水は使わないようにしましょう。

◆有明海のごみ問題

有明海へのごみの流入

有明海沿岸には、大雨の後に、様々な川から、流木やヨシクズ、また、わたしたちの生活に密接に関係するビニール袋やペットボトル、空き缶などのごみが大量に流れ込みます。

流木やヨシクズ以外のごみは、わたしたちの生活や社会活動に伴い、道路や水路などに捨てられたものが川などから有明海へ流れ込んでいるものと考えられます。



降った雨が有明海に流れ込む範囲



有明海沿岸に漂着したごみ

ごみの影響

これらのごみは、沿岸を漂流し、漁船の航行の支障となったり、漁船からまらすることで、漁船の故障の原因となったりすることもあります。また、ノリ養殖などの漁業活動にも大きな支障となっているばかりでなく、海岸や干潟に漂着して、ムツゴロウやワラスボ、アサリをはじめとする貝類やシチメンソウなど、様々な生物の生息の場を悪化させたり、広大で美しい干潟の景観を損ねたりするなど、大きな影響を及ぼしています。

2017年7月九州北部豪雨の影響で有明海に流れ着いたごみ

ごみが漂着した有明海(鹿島海岸)



ごみを取り除いた後の有明海



干潟にすむムツゴロウやワラスボ、貝類、シチメンソウなど様々な生き物の生活環境や美しい景観をごみが損ねています。



子どもたちが環境問題を身近なことで考え、有明海を大切にしてほしいという思いで作った動画の一場面です。

有明海再生 PR 動画

検索

ごみを減らす取り組み

わたしたちの貴重な財産である有明海の環境をまもるためには、有明海に流れ込むごみを少なくする取り組みが必要です。

はじめよう！

大切な海を守るためにあなたができること。



川や水路の清掃活動



有明海沿岸に漂着したごみの回収

わたしたちに できること

- 川や海はもちろん、道路などにもごみを捨てない。
- 道路や公園など、身のまわりでゴミを見つけたらひろう。
- 川や海、道路などの清掃活動に参加する。
- 外に出かけたときは、ごみは持ち帰る。